

平成26年度 国立大学図書館協会 海外派遣事業 海外派遣報告

北米における シェアードプリントWEST 及び自動書庫調査

2015年6月18日
第62回国立大学図書館協会総会研究集会

大阪大学情報推進部情報基盤課
研究系システム班（図書館システム担当）
森石みどり

背景

- 平成25年8月
『学修環境充実のための学術情報基盤の
整備について（審議まとめ）』
- 適切なコンテンツの管理と空間の確保
 - アクティブ・ラーニングのための空間の確保
 - 自動書庫等の導入
 - 紙媒体の重複保存を抑制する
シェアード・プリントの導入

調査概要

- シェアードプリントの1プログラム
WESTと自動書庫を調査
- 2014年9月2日～9月7日
- 9月3日 カリフォルニア大学
 - WEST保存館/遠隔地保存書庫 NRLF訪問
- 9月4日 ユタ州立大学訪問
- 9月5日 ユタ大学訪問
 - 2館ともWEST参加館/自動書庫設置館

2015/6/18

3

シェアードプリント

- 電子リソース普及+冊子体資料利用減
 - アクティブラーニングスペースの拡大
- ↓
- 利用が減った冊子体資料を、
複数の大学で、共同の蔵書として管理
 - 保存コスト削減とスペース回復が可能
 - 北米で30以上の取り組み

2015/6/18

4

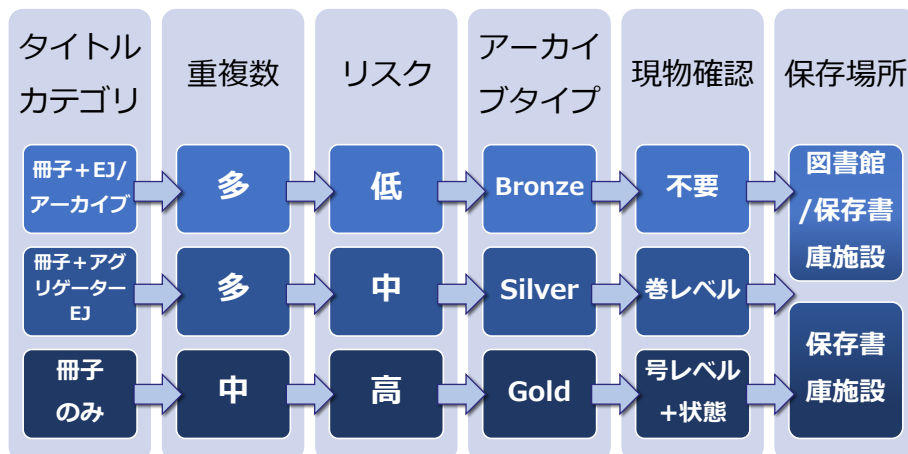
WEST

- Western Regional Storage Trust
- 西部を中心に中東部まで広範囲から
- 100館以上の研究図書館が参加
- 雑誌バックナンバーを分散保存
- 電子ジャーナルの有無と参加館内の重複数から決めた、**消失リスク**を元に、保存雑誌と保存ルールを決める

2015/6/18

5

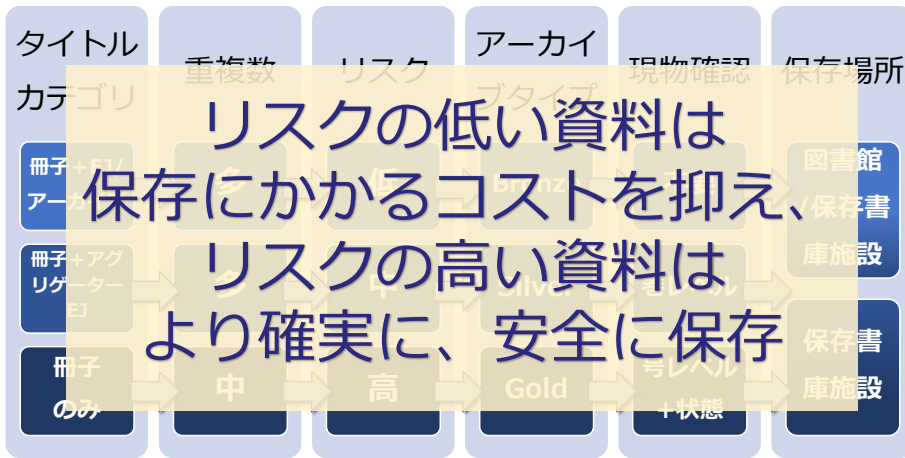
タイトルカテゴリとアーカイブタイプ



2015/6/18

6

タイトルカテゴリと アーカイブタイプ



2015/6/18

7

保存コスト

- 資料の保有にはコストがかかっている
- 利用の少なくなった資料の保存コストを最小化する
- 保存コスト
 - キャンパス内の書架
 - ↓
 - キャンパス内自動書庫
 - ↓
 - 遠隔地保存書庫
 - ↓
 - シェアードプリント

2015/6/18

8

スペースの問題は共通

- WEST参加の動機
 - 図書館協力 = 自館だけの問題ではない
 - WESTの目的（資料保存・資料へのアクセス保証・スペース回復）へ賛同
- 自動書庫もやがて満杯に
- 学修スペースはますます拡大が必要
- 個別に解決は困難、協力して解決へ

2015/6/18

9

ありがとう
ございました



2015/6/18

10